

日常生活での悩みや不安の内容

老後の生活設計、
自分や家族の健康

大災害が起き、将来への不安を強く感じておられる方も多いかと思いますが、そうでなくても毎日の生活の中で悩みや不安が何もないという方は少ないと思います。

内閣府の「国民生活に関する世論調査（平成22年6月調査）」によると、日頃の生活の中で「悩みや不安を感じている」と答えた人の割合は68.4%、「感じていない」と答えた人の割合は30.8%でした。

性・年齢別に見ると、「感じてい

る」と答えた人の割合は男性の50歳代、女性の40歳代から60歳代で高く、「感じていない」と答えた人の割合は男性の20歳代、30歳代、70歳以上、女性の70歳以上で、それぞれ高くなっています。

「悩みや不安を感じている」と答えた方4,350人に、悩みや不安の内容を尋ねると、「老後の生活設計」が最も高く、以下、「自分の健康」「家族の健康」「今後の収入や資産の見通し」などの順でした。

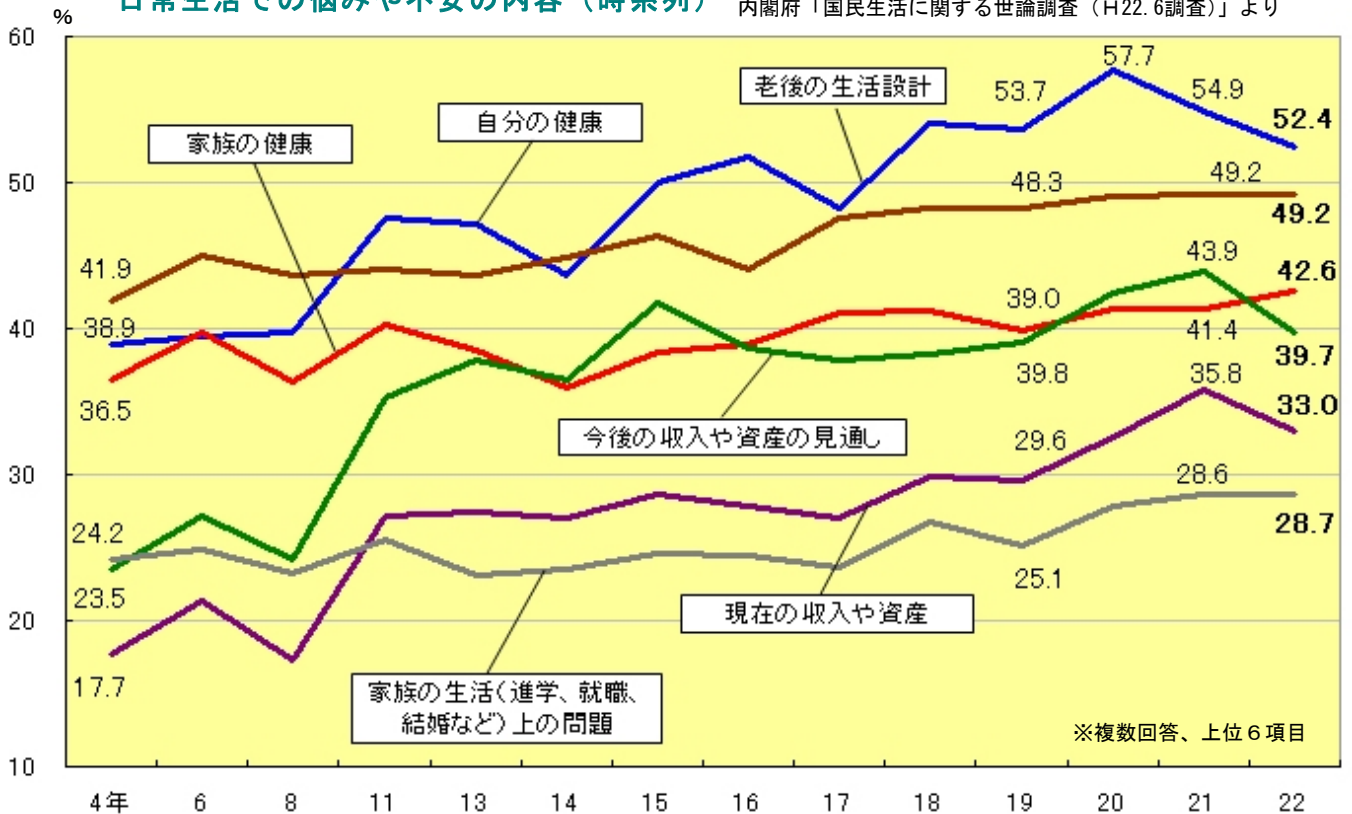
前年と比較すると、「老後の生活

設計」や「今後の収入や資産の見通し」を挙げた人の割合が低下しています。性別では、「老後の生活設計」「家族の健康」が女性で、「今後の収入や資産の見通し」が男性で高くなっています。

性・年齢別では、「老後の生活設計」は男性の50歳代、60歳代、女性の40歳代から60歳代で、「自分の健康」は男性の60歳代、70歳以上、女性の60歳代、70歳以上で、「家族の健康」は女性の50歳代、60歳代でそれぞれ高くなっています。

日常生活での悩みや不安の内容（時系列）

内閣府「国民生活に関する世論調査（H22.6調査）」より



※複数回答、上位6項目